

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立吉川美南高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。「ビジョン検討委員会」を中心に学校の現状や課題、地域の期待やニーズを広く把握・分析し、次のステップに向け目指す学校像を更に具体的かつ簡潔なものにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	これまでの成果を踏まえて、重点目標の順番を入れ替え、地域の期待や進路の実態を把握した重点目標が設定されている。目指す学校像の検討に合わせて、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて必要な評価項目が挙げられている。学校全体の目標を踏まえ、分掌・年次間の連携を図り、よく議論しながら分掌等の問題意識を学校全体のシートに反映させる体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、職員会議などで教職員間の共通理解を図ろうとしている。分掌等のシートにおいては、定量的な指標を適切に設定するなど学校全体のシートと連鎖させて更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は年度当初に学校経営方針を示し、トップダウンとミドルボトムアップの双方向を意識して取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、若手教職員を更に巻き込み、学力向上等の課題の解決に向けて、学校全体として一層組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者に対して年2回のアンケートを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に分析して達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			